

那覇港湾・空港整備事務所におけるSDGsの取組について

私ども那覇港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。

9 産業と資源効率の改善につなぐ
13 気候変動に具体的な対策を

環境共生型防波堤の整備

那覇港においては、港湾整備に伴い喪失するサンゴの移設に長年取り組んできました。今後も、構造物に着生するサンゴに着目し、防波堤本来の機能(外海の波から港内を守る)に加え、サンゴ着生促進機能を付加した環境共生型防波堤の整備を行っています。
【目標】 着床サンゴに係るモニタリング調査(継続)

消波ブロック 消波ブロック表面に凹凸加工を形成することでサンゴの着底・生育を促進

効果(イメージ)

タイドプール タイドプールの設置による、新たな要素によりサンゴの着生・生育を促進

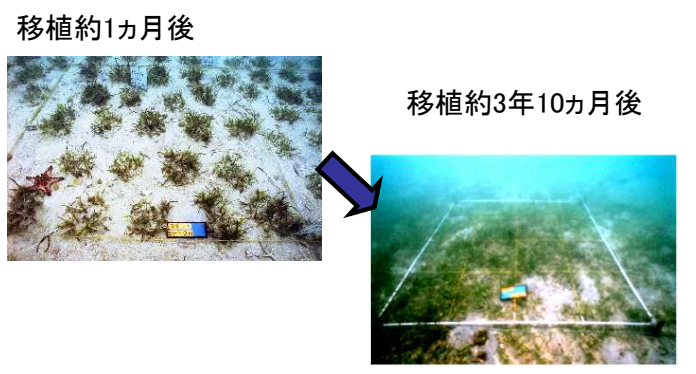
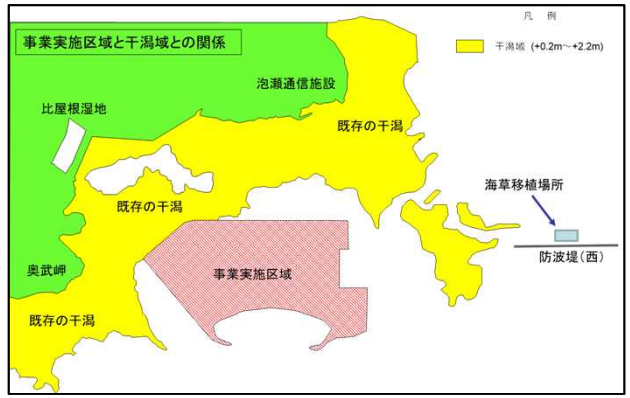
蓋方塊 (凹凸加工またはグレーチング)

効果(イメージ)

13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう

藻場の保全、再生への取組

中城港湾の埋め立てにあたり、既存の干潟域をできるだけ回避するとともに周辺の大型海草の移植に取り組み、藻場生態系の保全に努めてきました。今後は、より良い環境創造、自然再生をめざして、干潟や藻場の再生技術の向上に努めていきます。
【目標】 海草移植に係るモニタリング調査(継続)



4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も

総合学習・出前講座の実施

那覇港湾・空港整備事務所では、職員が学校や地域のイベントなどに出向き、当事務所が行っている事業に関する事などについて紹介させていただく「出前講座」を開催しています。
 出前講座は無料です。申し込みは事前に(3週間前までに)ご連絡をお願い致します。
【目標】 3回/年程度の出前講座を実施

職員による事業の取組内容説明



現場見学会の様子



平良港湾事務所におけるSDGsの取組について

私ども平良港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。

離島における港湾整備



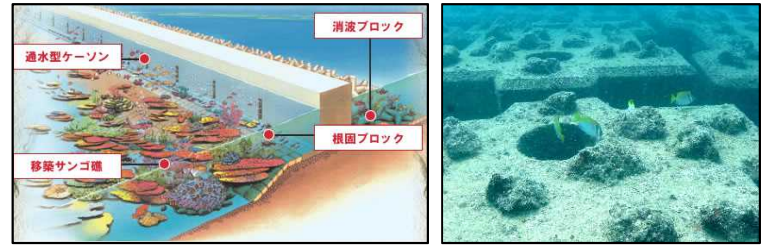
平良港は、沖縄本島の南西約290kmに位置する宮古島、伊良部島、池間島、来間島、大神島、多良間島の6島からなる宮古圏域の物流・人流を支える重要港湾です。平良港湾事務所においては、昭和47年より港湾施設の整備を行っており、宮古圏域と沖縄本島との物流拠点として、また、防波堤や耐震岸壁整備等の災害対応への取り組み、リゾート開発やクルーズ船の受入れ施設などを通して、地域のくらしや経済活動へ貢献する取り組み等を行っております。



環境保全への取組



港湾の整備にあたり、防波堤に囲まれた水域への通水性を確保するためケーソンに通水部を設けたり、サンゴ等が着生しやすいよう消波ブロックに溝加工を施す、また、生物の付着を促すため自然石等を被覆ブロックに取り付ける等の工夫を行い、環境保全への取組に努めてきました。その他、建設副産物の再利用や、グリーン購入法に基づく物品調達に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでいきます。



みなとまちづくりやクルーズ船受入れ等の港湾管理者支援



平良港においては、宮古圏域の活性化を図ることを目的に、官民一体となって平良港を中心とする市街地域の再開発に関する事業推進に取り組んでおり、平良港コスタルリゾート計画や、国際クルーズ拠点の活用など、観光との共存も取り組んでいます。【目標】2022年度:港湾区域内の海浜・海域利用のルール策定支援



総合学習の実施



平良港湾事務所では、地域の学生を受入れる職業体験や現場見学、港内のフィールドや環境調査等の成果を基に地域市民を対象とした環境学習を開催しています。

【目標】2021年度:1校2名→2030年度:2校4名程度



石垣港湾事務所におけるSDGsの取組について

私ども石垣港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、石垣港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



最南端の重要港湾

石垣港は、日本最南端の重要港湾であり、八重山諸島で消費される生活物資を受け入れるための拠点港であるとともに周辺離島への発着基地として、離島住民の生活や離島観光の拠点、クルーズ船も多数寄港しており、国際観光拠点として重要な役割を果たしています。今後も、日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報の拠点、地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出に取り組めます。



環境保全への取組

竹富南航路は、西表石垣国立公園に指定されている海域に存在し、400種ものサンゴが生息する世界有数のサンゴ礁域であるため、航路の整備にあたり環境に十分配慮するとともに、工事箇所等に存在するサンゴを可能な限り移設しています。今後も引き続き、より良い環境創造、自然再生やサンゴの再生技術を通じて環境保全への取り組みに努めていきます。

【目標】 定期パトロールや環境保全に資する継続調査



防波堤の整備

石垣港においては、基幹産業として持続可能で責任ある観光の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興としてクルーズバースの整備や、防災機能の強化を図るための防波堤の整備を行ってきました。現在は、防波堤(外)の延伸を行っています。



総合学習・出前講座の実施

石垣港湾事務所では、職員が学校や地域のイベントなどに出向き、当事務所が行っている事業や防災に関することなどについて紹介させていただく「出前講座」を開催しています。出前講座は無料です。申し込みは事前に(3週間前までに)ご連絡をお願い致します。 **【目標】 3回／年程度の出前講座を実施**

